



学校だより 9月

横浜市立芹が谷南小学校

平成30年8月27日

子どもたちと地域・社会の関わり

副校長 外川 典子

学校のひまわりが太陽の方を見て咲いています。夏休みは、34日間でしたが、どのような夏休みを過ごされたでしょうか。

今年は、気温が高い日が多く、また、台風や大雨など日本の多くの地域で災害があり、お知り合いや親せきの方など被害に遭われたということがある方もいらっしゃるのではと思います。被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。

学校では、特別水泳として、7月に1～6年、8月には4～6年の水泳学習を実施しました。合計約220名の児童が参加し、水に親しみ、泳力を伸ばしました。また、7月末の4日間、学習タイムで約190名の児童が、主に算数の学習の復習に熱心に取り組みました。

夏休み中に行われた、地域のお祭りや行事、花火を楽しむ姿やお祭りの運営に関わる姿にも、児童の笑顔がたくさん見ることができました。地域や保護者の皆様の御指導や御協力・準備のお蔭で、子どもたちの生き生きとした姿が見られました。

先日、横浜市民3000人を対象にした調査（公益財団法人よこはまユースの調査）に「青少年期の『社会体験』は生き抜く力を育み、社会で活躍する人を育てる」という結果が出ていました。

調査結果のうち具体的な結果のうちの二つを紹介します。

①青少年期の社会体験が豊富な人ほど、コミュニケーション能力や挑戦意欲、あきらめずにやり抜く力が高く、社会で活躍するために求められる能力が高い。

②青少年期に家族以外の地域の大人や異年齢の子供と関わる機会が多い人ほど、自尊感情や共感性、社会への関心が高く、地域での活動に積極的に参加している。

今後、児童が大人になるころには、ますます変化の激しい時代になることが予想されます。

挑戦する意欲、やり抜く強い心、コミュニケーション能力と共に、積極的に社会参画していくことが生きていくうえでより必要になっていくことでしょう。

芹が谷の地域では、夏のお祭りだけでなく、様々な地域行事等で児童が保護者の皆様や地域の方々に見守られ、地域と関わりながら大切に育てていただいています。とても心強く思います。前述の二つは、本校の児童について、大人になったときにその姿がたくさん見られるのではないかと思います。今後も、保護者の皆様や地域の皆様と学校とで連携を取りながら教育活動に取り組みますよう、よろしく願いいたします。

夏休みが終わり、本日より子どもたちが元気よく登校してきました。9月29日には芹南ピックが予定されています。ぜひ多くの方にご参観いただき、温かい励ましの声かけをしていただければ幸いです。子どもたちが笑顔でそれまでの練習を精一杯発揮できるよう、これからも教職員一同力を合わせて支援・指導していきます。どうぞよろしく願いいたします。